

Java プログラムデジタル署名の証明書の有効期限切れ(有効期限:2028 年 4 月 22 日)について

デジタル署名(タイムスタンプ無し)には、従来有効期限が 3 年期限の証明書を使用しておりましたが、証明書を発行する認証局の業界団体である「CA/B フォーラム」にて最長有効期間を 397 日と決定したため、従来の 3 年期限での証明書発行が出来なくなりました。そのため、2028 年 4 月 22 日以降も使用される場合は、デジタル署名(タイムスタンプ付き)のバージョンへの移行をお願いします。

1. 証明書の期限切れについて

日立ディスクアレイシステムの管理端末(SVP/GUM)には Java プログラムを使用しています。外部からの不正なプログラム実行を防ぐ目的で、Java プログラムにデジタル署名をおこなっていますが、別紙 1 の「表 4. プログラムの更新が必要なバージョン一覧」のマイクロを使用している場合、タイムスタンプを付与していません。そのため証明書の有効期限(2028 年 4 月 22 日 8 時 59 分)よりも前に管理端末のプログラム更新が必要になります。

また、2021 年以降、管理端末のプログラム更新を実施していない場合、既に有効期限が切れている可能性がありますので、できるだけ早く管理端末のプログラム更新をお願いします。

*Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

2. 対策版マイクロ

本件の対応として、管理端末の Java プログラムに対してタイムスタンプを付与するデジタル署名を行う対策を実施します。お客様各位におかれましては、JRE のバージョンを更新の上、対策版のプログラムをご適用いただきたくよろしくお願い致します。また、JRE のアップデートができないお客様につきましても、2028 年 4 月 22 日以降も使用される場合は、JRE のバージョン更新とタイムスタンプ付きデジタル署名のバージョンへの移行をお願いします。

表 1. 証明書期限切れ対策で用意する Java プログラム

#	ご用意する Java プログラム	クライアント PC の JRE Ver.	説明
1	デジタル署名(タイムスタンプ付き) Java プログラム	Java 6 Update 131 以降 Java 7 Update 76 以降 Java 8 Update 152 以降、Java8 Update 181 以下*1 Java11	以降のバージョンで、証明書期限切れに対する考慮が不要になります。 ※有効期限は 10 年となっておりますが、リリース時期によっては 10 年未満となります。
2	デジタル署名(タイムスタンプ無し) Java プログラム	Java 6 Update 130 以下 Java 7 Update 55 以上 75 以下 Java 8 Update 5 以上 151 以下	有効期限 2028 年 4 月 22 日以降につきましては、JRE のバージョンを更新して、表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。

*1: Java 8 Update 181 より新しいバージョンについては未サポートのため、Java 11 への移行をお願いします。

#2 のプログラムでは、Java7/Java8 の環境において、証明書の期限が切れると Storage Navigator の一部の画面が使用不可となりますので、#1 のプログラムの適用(クライアント PC の JRE Version UP)を検討願います。ご使用環境毎の対応方法を表 2 に示します。お客様の使用環境にあったプログラムへの更新をご検討ください。

表 2. ご使用環境毎の対応方法

#	ご使用の製品	クライアント PC の JRE Ver.	対応
1	Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500 Hitachi Virtual Storage Platform F1500	Java 6 Update 130 以下	最新版 JRE 適用の上、表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。
2	Hitachi Virtual Storage Platform VX7	Java 6 Update 131 以上	表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。
3	Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800*3	Java 7 Update 54 以下	証明書の有効期限をチェックしないため、対応不要です。*1
4	Hitachi Virtual Storage Platform F400, F600, F800*3	Java 7 Update 55 以上 75 以下	最新版 JRE 適用の上、表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。
5	Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900	Java 7 Update 76 以上	表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。
6	Hitachi Virtual Storage Platform F350, F370, F700, F900	Java 8 Update 4 以下	証明書の有効期限をチェックしないため、対応不要です。*1
7		Java 8 Update 5 以上 151 以下	最新版 JRE 適用の上、表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。
8		Java 8 Update 152 以上、 Java 8 Update 181 以下*2	表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。
9		Java 11 全バージョン	表 3 の#1～#3 のプログラムをご適用お願いします。

*1: プログラム上で動作に問題はありませんが、セキュリティ上の問題があるため、最新版の JRE への Version Up をご確認ください。

*2: Java 8 Update 181 より新しいバージョンについては未サポートのため、Java 11 への移行をお願いします。

*3: 保守サービス期限は、2027 年 3 月までとなります。

3. 対応対象製品と対応プログラムのリリースバージョン

製品毎の対応プログラムリリースバージョンを表 3 に示します。リリースバージョンに合わせて、プログラムの更新を実施させていただきたくご検討のほどよろしくお願い致します。

表 3. 製品毎の対応プログラムリリースバージョン

#	対策プログラム	製品	バージョン	
			DKCMAIN	SVP
1	デジタル署名(タイムスタンプ付き) Java プログラム	Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500 Hitachi Virtual Storage Platform F1500 Hitachi Virtual Storage Platform VX7	80-06-98-00/20 以降	80-06-94/00 以降
2		Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800*2 Hitachi Virtual Storage Platform F400, F600, F800*2	83-05-54-x0/00 以降	83-05-58-x0/00 以降
3		Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900 Hitachi Virtual Storage Platform F350, F370, F700, F900	88-08-16-xx/00 以降	88-08-18-x0/00 以降
4	デジタル署名(タイムスタンプ無し) Java プログラム ただし、有効期限は 2028 年 4 月 22 日まで となります	Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500 Hitachi Virtual Storage Platform F1500 Hitachi Virtual Storage Platform VX7	80-06-98-00/20	80-06-94/50*1
5		Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800*2 Hitachi Virtual Storage Platform F400, F600, F800*2	83-05-54-x0/00	83-05-58-x0/50*1
6		Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900 Hitachi Virtual Storage Platform F350, F370, F700, F900	88-08-16-xx/10	88-08-18-x0/50*1

*1 : SVP のバージョンが「xx-xx-xx/5x」「xx-xx-xx-xx/5x」についてのみ、タイムスタンプ無しのデジタル署名を付与しています。

*2 : 保守サービス期限は、2027 年 3 月までとなります。

別紙1 対象製品およびバージョン

表4. プログラムの更新が必要なバージョン一覧(有効期限:2028年4月22日)

#	ご使用の製品	バージョン		備考
		DKCMAIN	SVP	
1	Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500	80-06-70-xx/xx 以前	80-06-68/xx 以前	x は任意の数字
2	Hitachi Virtual Storage Platform F1500 Hitachi Virtual Storage Platform VX7	80-06-98-00/20 以前	80-06-94/5x 以前 ^{*1}	x は任意の数字
3	Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800 ^{*2}	83-05-32-xx/xx 以前	83-05-34-xx/xx 以前	x は任意の数字
4	Hitachi Virtual Storage Platform F400, F600, F800 ^{*2}	83-05-33-x0/00 以降 83-05-54-x0/00 以前	83-05-58-x0/5x 以前 ^{*1}	x は任意の数字
5	Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900	88-03-28-xx/xx 以前	88-03-26-xx/xx 以前	x は任意の数字
6	Hitachi Virtual Storage Platform F350, F370, F700, F900	88-03-29-x0/00 以降 88-08-16-xx/10 以前	88-03-28-x0/5x 以降 88-08-18-x0/5x 以前 ^{*1}	x は任意の数字

*1 : SVP のバージョンが「xx-xx-xx/5x」「xx-xx-xx-xx/5x」については、タイムスタンプ無しのデジタル署名を付与しています。タイムスタンプ無しのデジタル署名の場合のみ証明書の日付を確認し期限が過ぎている、または期限が迫っている場合はプログラムの更新が必要です。

*2 : 保守サービス期限は、2027年3月までとなります。

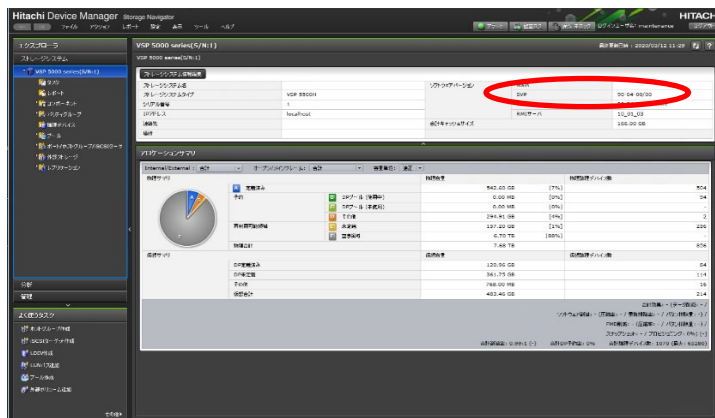
別紙2 SVP のバージョンおよび、証明書有効期限の確認方法

(1) SVP バージョンの確認方法

Storage Navigator にログインし、初期画面で確認が可能です。

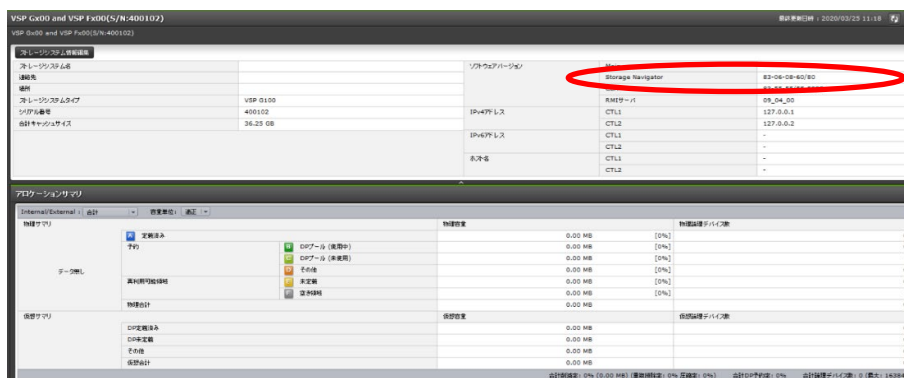
下記製品の場合、「ソフトウェアバージョン」－「SVP」の欄を参照願います。

- Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500
- Hitachi Virtual Storage Platform F1500
- Hitachi Virtual Storage Platform VX7



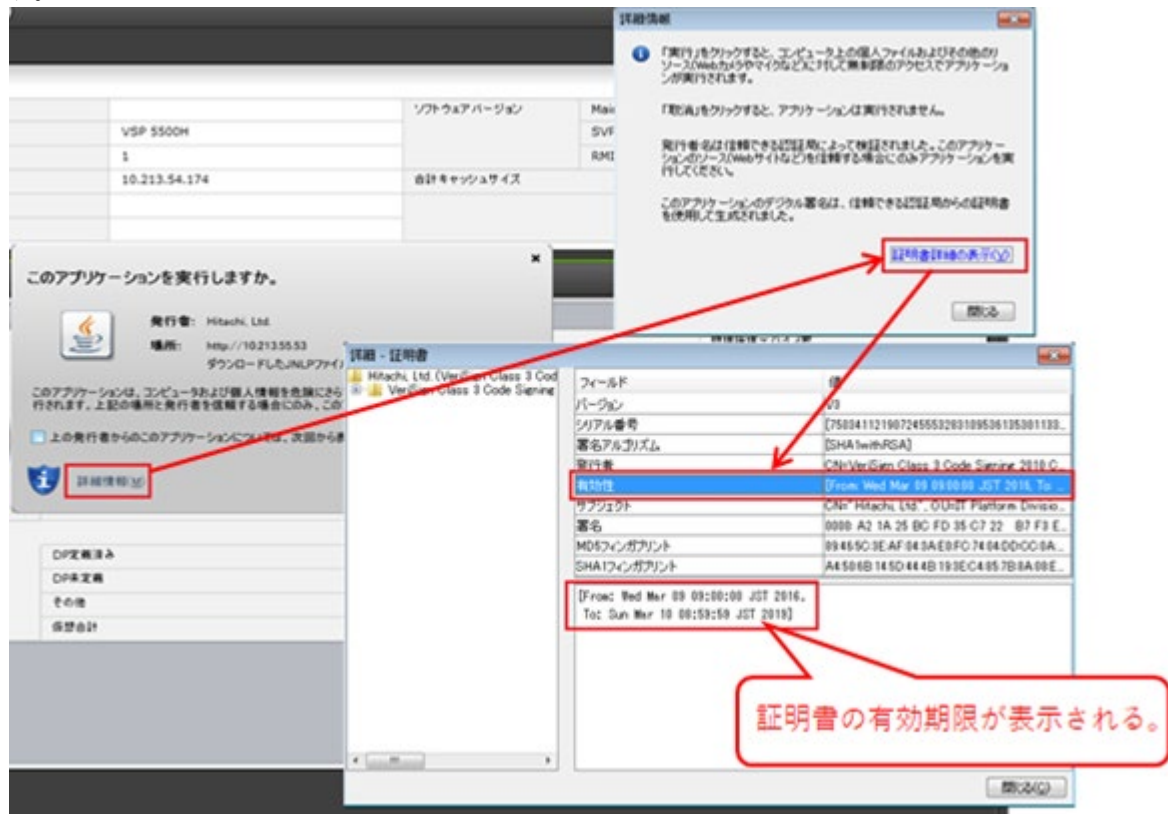
下記製品の場合、「ソフトウェアバージョン」－「Storage Navigator」の欄を参照願います。

- Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800
- Hitachi Virtual Storage Platform F400, F600, F800
- Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900
- Hitachi Virtual Storage Platform F350, F370, F700, F900



(2) 証明書有効期限の確認方法

Storage Navigator からサブ画面を起動すると「このアプリケーションを実行しますか。」というダイアログが表示されます。[詳細情報 (M)] - [証明書詳細の表示(Y)] をクリックすることで、デジタル証明書の有効期限を確認できます。なお、有効期限を過ぎていても、タイムスタンプが有効である間、Storage Navigator サブ画面を安全に使用できます。



以上